

乃義光物語曰天童のるる松の親者（三）此
前進ありけりに源朝長史源何業と書けり
くも源朝山寺法平史ありて咄けりを
一呼喚て君の祖先源朝長公源朝長史とい
号けり（と）此代々嫡裔なれば一家に
きり（と）名なりや（唐）といふ地は羽守
といふ人二人有 一人田川郡無名取今一人ハ
白多十郎武任の事なり又天
童に源朝長史あり此家を孫めくも一あ
りすやと云

一 愛宕山大檀現

当場の中護社と云、羽源記曰場地の因り
是家堂あり先年場を故山の先沼延沃
り伝作きりを傳へる人を認めて社を平
地より延沃義光（降系）てけ社の靈
驗新なる事をやり上げれば此致伝ありて
ふ二百余石の田地を寄附し一版園を建立ス
今の愛宕山法幢寺 まゝ云 是なり義光物語
天童物語は孫軍地蔵法味然敬傳伏の具
強強を事に思召別白伝心を勵され伝光
と伝をお添ふ三百七十石を寄附せり